

報道関係者各位
プレスリリース

2016年1月18日
株式会社インフォデックス

クリエイティブの力で広告効果を最大化します！
ディスプレイ広告のクリエイティブ PDCA サービス
<beehave (ビーハブ)> 提供開始

拝 啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、株式会社インフォデックス（本社：東京都港区／代表取締役：瀧澤暁）は、ディスプレイ広告のクリエイティブ PDCA サービス<beehave (ビーハブ)>の提供を開始しました。[\(http://beehave.infodex.co.jp/\)](http://beehave.infodex.co.jp/)



■ **クリエイティブ PDCA サービス<beehave>とは？**

beehave は、クリエイティブの力でディスプレイ広告の効果を最大化させる新しいカタチの PDCA サービスです。弊社が長年にわたり培ってきた知見や研究結果を活かしたクリエイティブによって、単純な要素の組み替えによる PDCA では出し得なかった効果の幅を創出します。



- **特徴 1 インフォデックスの豊富な実績と知見**

弊社では創業以来、大手企業を中心に数多くのディスプレイ広告の企画・制作サービスを提供して参りました。その豊富な実績と知見を最大限活用し、お客さまの広告効果を最大化します。

※対応クライアントはこちらでご確認ください。

<http://beehave.infodex.co.jp/>

- **特徴 2 「行動心理学」を活用したクリエイティブアプローチ**

ユングが提唱した「類型論」をデジタル上の行動に適応させて、より反応されやすいクリエイティブを開発します。ユーザーの心的活動様式ごとの思考・行動をあらかじめ予見して、最適な情報設計～デザイン構築を行います。

- **特徴 3 「データ×クリエイティブ」で広告効果を最大化します**

パフォーマンス系広告運用にも精通した担当者が、クリエイティブワークを担います。分断されがちなデータ分析とクリエイティブを一貫して行うことで、よりスピーディーかつ効果的な改善策をご提案いたします。

- **特徴 4 統計学に基づいた効果予測シミュレーション**

統計学の概念に基づいた論理性の高い効果予測シミュレーションを算出します。漠然とした目安ではなく、理論的に目標とすべき数値を明確にすることによって、クライアント様の利益貢献に真摯に対応します。

- **特徴 5 パフォーマンス型広告の最適化支援もしくは運用代行**

クリエイティブだけではなく、運用型広告の最適化支援や運用代行まで含めたトータルサービスをご提供することも可能です。Googleをはじめとした運用の認定資格を保有した担当者が対応いたします。

■ トライアルの結果

トライアルを実施いただいたお客さますべてで、前月までの効果を大きく上回る結果がでました。今後 PDCA を重ねることによって、さらなる向上が期待できます。



■ beehave 提供の背景

昨今のインターネット広告は、テクノロジーの発展とともに広告配信・運用手法が多様化し、それらの領域に焦点が当てられるケースがほとんどでした。しかし、広告効果を引き上げるためには運用面での取り組みだけでは限界があり、クリエイティブパワーこそが必要不可欠かつ最大のブレイクスルー要因であると考えております。

そういった環境下において、ディスプレイ広告におけるクリエイティブ軸のパフォーマンス最大化プログラムをサービス化しました。ブランド系、レスポンス系、などといった従来の概念にはとらわれず、各クライアント様のそれぞれのニーズに即した効果の高いクリエイティブを提供します。

敬 具

■ サービスタイトル

ディスプレイ広告のクリエイティブ PDCA サービス
beehave (ビーハブ)



■ サービス料金

1. クリエイティブ PDCA サービス : 60 万円~/月
2. 広告運用代行+クリエイティブ PDCA : 媒体料金の 20%

■ サービスサイト URL

<http://beehave.infodex.co.jp/>

【株式会社インフォデックス 会社概要】

社名	株式会社インフォデックス
本社所在地	〒105-0013 東京都港区浜松町 1-6-15 VORT 浜松町 I 3F
電話	03-5733-3443
代表者	代表取締役 瀧澤 暁
設立日	2000年(平成12年) 3月30日
会社ホームページ	http://www.infodex.co.jp/



<本件に関するお問い合わせ>

株式会社インフォデックス

広報担当：諸永憲人

E-MAIL : moroanga@infodex.co.jp

TEL : 03-5733-3443
